

劇団わが町
第②回→公演

Shinyuri Theatre

しんゆりシアター

わが町しんゆり

原作 ソーントン・ワイルダー 翻訳 鳴海四郎 翻案・作・構成・演出 ふじたあさや

1901年

ニューハンプシャー州

は

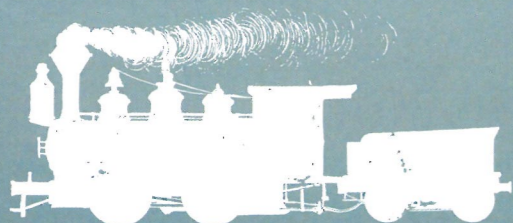
しんゆり だった!

TICKET → 一般 2,500円 / 小学生以下 1,000円 (全席自由・税込)
発売日 2013年4月19日 (金)

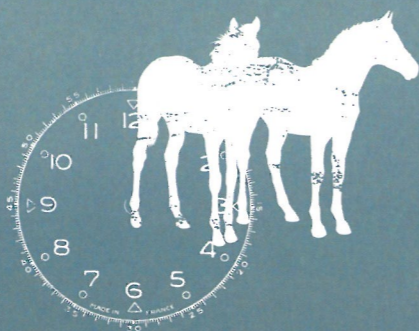


グローヴァーズ・コーナースは
「北緯四十二度四十分、
西経七十度三十七分」ですって?

—嘘、そこって
ですよ!



Our Town
Shinyuri Theatre
Original work - Thornton Wilder
Translation - Shiro Narumi
Conceptadaptation and direction - Asaya Fujita



2013年6月14日(金) - 6月16日(日)

INFORMATION → 川崎市アートセンター TEL 044-955-0107 / URL <http://kawasaki-ac.jp/>

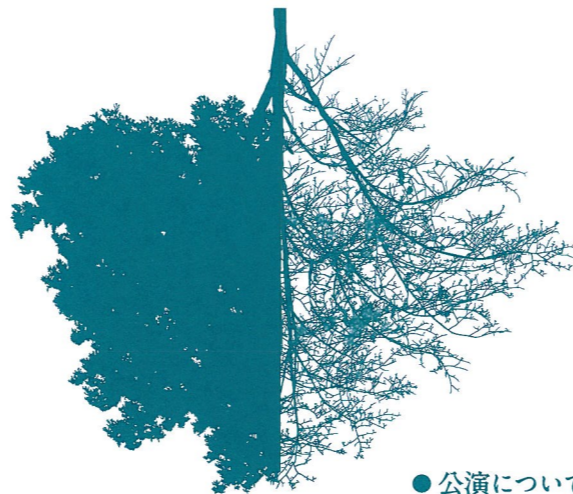


川崎市アートセンター
アルテリオ小劇場

しんゆりシアター わが町しんゆり

Shinyuri Theatre

劇団わが町
第②回公演



● 演出家より

はじめての「はじめて」 ふじたあさや

ワイルダーの『わが町』を、日本のどこかの町に置き換えて翻案するというのは、長岡輝子さんが『わが町溝の口』で試みられて以来、数多くの演出家があちこちで実現してきた。ワイルダーの描いた「日々の生活のすばらしさ」なら、日本にもあるはずだ、この町にもあるぞ、と言いたい演出家や劇団が、それだけあったということなのだろう。でも、そのすべてが、原作の風土や人間関係をそっくりそのまま、日本のその町に置き換えるだけだった。だがそれでは、ワイルダー独特の世界観は表わしきれない。そこで私は、ワイルダーの原作を上演しながら、それをこの土地に置き換えたならこうなるという場面をも、挿入するように上演する、いわば日米両バージョンを並行上演することを思いついた。1930年代にこんな革新的

な方法で芝居を書いたワイルダーだから、もし生きていれば必ずこんな試みをしたはずだ、と私は確信している。

はじめてのそんな方法をやってみようと思ったのは、劇団の皆さんの、意欲と努力、知的レベルに触発されたからである。これもはじめてのリージョナルシアターを目指して、新しいタイプの劇団づくりに馳せ参じてくれた、4歳から74歳までの50人近い地域の皆さんは、私の思いつきを面白がってくれて、絶妙のアンサンブルが生まれつつある。これまでの市民参加劇とは一線を画すこの皆さんが、私にはじめての『わが町』を書かせてくれたのだ。

『わが町』を上演するから「劇団わが町」だと、誇りを持って言える日が、間もなく来そうである。



● 劇団員

秋山敏幸	上崎 実	田中千恵美	松橋 亮
いまだりえ	木村陽子	田辺佐保子	三浦比呂子
上田明彦	小林千穂	夏堀妙子	宮下瑛美
梅澤賢一	近藤明子	成澤布美子	村上マヤ子
梅澤実里	酒井道子	萩原みどり	森山蓉子
大野倫子	酒井みな実	橋迫千明	矢澤耕一
大野好之	酒井優月	林 桃子	山浦弘靖
緒方淑子	佐多明美	日野順子	山田スミ子
奥野汜子	品田美季	平井陽菜	山田美穂子
小山雲母	島貫晶江	牧野克己	山田誠浩
かつこ茂	鈴木明博	松崎朝子	
狩野 淳	高取良典	松澤亜美	

● 客演

今野鶏三 古館一也 原田 亮

● スタッフ

原作：ソーントン・ワイルダー
 翻訳：鳴海四郎
 翻案・作・構成・演出：ふじたあさや
 美術：池田ともゆき
 衣装：坂本真彩
 照明：坂本義美
 音楽：藤原 豊
 音響：山北史郎
 舞台監督：野口岳大
 演出助手・ワークショップ講師：大谷賢治郎
 主催：芸術によるまちづくり・かわさき実行委員会／川崎市
 後援：NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり
 企画・制作：川崎市アートセンター／NPO法人KAWASAKIアーツ

● 公演について

2012年6月に生まれた劇団わが町はワークショップ、稽古を重ね、今年3月に「わが町しんゆり」の試演会までたどり着きました。この6月公演は、試演会からさらに稽古を重ね、作品をみんなで育て、バージョンアップした舞台をお見せします。

1938年にアメリカで発表されたソーントン・ワイルダーの戯曲「わが町」は、現在までに世界中であらゆる町に置き換えられて上演されています。「日常」のかけがえのなさを感じさせてくれるこの作品は、いつの時代でも受け入れられる、普遍的に私たちの心にあるものなのでしょう。劇団わが町では原作の世界と、「私たちのわが町・しんゆり」を自由に行き来する作品に仕上げました。きっと遠い昔のアメリカの物語を身近に感じ、また「私たちのわが町」をさらに大切に感じていただけたと思います。

● しんゆりシアターとは

2012年4月よりアルテリオ小劇場が主催する公演を「しんゆりシアター」と名づけました。「しんゆりシアター」はリージョナルシアター＝地域劇場を目指します。リージョナルシアターとは広い意味での公共の劇場が、プロの俳優・演出スタッフを集め、演劇やミュージカルの創造発信を行う事を言います。また、劇場の活動を評価するのは地域住民の方々です。この仕組みを理想とし、私たちは川崎市新百合ヶ丘地域の創造発信の拠点となる地域劇場を目指します。

● 劇団わが町

2012年6月に生まれた新しいゆるやかな劇団です。劇団員は地域住民の方々、総勢約50名。年齢制限はなく、現在4～74歳までのメンバーが所属しています。しんゆりシアターのラインナップの一翼を担い、長期的に様々な創造活動を行なっていきます。

● スケジュール

2013年6月14日(金) - 6月16日(日) 全5ステージ

6/14(金) ----- 開場 18:30 / 開演 19:00

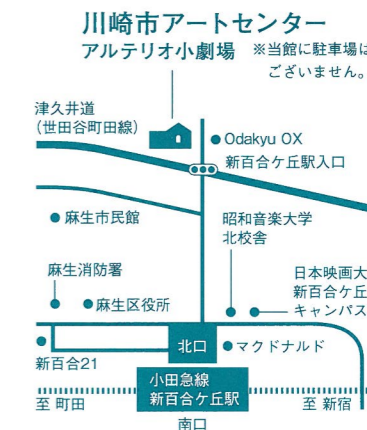
6/15(土) ----- 開場 13:30 / 開演 14:00
 開場 18:30 / 開演 19:00

6/16(日) ----- 開場 11:30 / 開演 12:00
 開場 16:30 / 開演 17:00

● アクセス

川崎市
アートセンター
アルテリオ小劇場

神奈川・
新百合ヶ丘駅北口
徒歩3分



● チケット

一般発売 ----- 2013年4月19日(金)
 料金 ----- 一般:2,500円(全席自由・税込)
 小学生以下:1,000円
 取扱い ----- 川崎市アートセンター
 窓口販売:9:30-19:30(毎月第2月曜除く)
 電話予約:044-959-2255
 (9:30-19:30 土日祝・毎月第2月曜除く)
 インターネット: <http://kawasaki-ac.jp/>
 (24時間対応、セブンイレブンでもお買い求めいただけます)

※3歳以上のお子様はチケットをご購入下さい。
 ※車いすでご来場のお客様は、当日のスムーズなご案内のためチケット購入後、事前に川崎市アートセンターまでご連絡をお願いいたします。

助成：財団法人地域創造

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場
 〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1
 TEL:044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp/>

